

## 小学生に夢を！元プロサッカー選手直接指導のサッカーイベント

### 1 取組の目的・全体像

コロナ渦によって、子どもの体験・学習機会が大きく損なわれ、幼少期に培われるべき身体能力やコミュニケーション能力の発達に対して大きな懸念が持たれている。

こうした体験の機会を補うべく、元プロスポーツ選手（元Jリーガー）を講師として招聘し、じかに触れ合う機会を設けることで、主体的に心身の成長に取り組む環境を提供したい。

#### 【課題解決イメージ】

イベント参加

⇒ 心（日々の取り組みの姿勢）＋ 身（トレーニングメニュー）を学ぶ

⇒ 課題の再認識

⇒ 日々のトレーニングの改善

⇒ サッカーノートに記録を取り振り返りを行う

⇒ 継続的な心身の研鑽

### 2 取組のポイント

小学校のスポーツテストで全国平均、および東京都平均を下回ってしまった三鷹市の小学生の身体機能（特にスポーツ全般に必要な体幹やボールを止めて蹴る基礎技術）を向上するとともに、プロアスリーの技術やメンタリティーに触れることで、子どもが自ら課題を明確化し主体的に取り組めるよう促した。

また、オリジナルノートを配布し振り返りに活用してもらうことで、自らの課題解決に取り組む一助とした。

### 3 取組の成果

サッカー元日本代表の羽生直剛さん、河野広貴さんのお二人が講師として参加してくださり、小学3年生から5年生までの子供たちに対して、プロの練習方法を伝えてくださった。また、ミニゲームにも加わってくださり質問の時間を多めに設けたことで、子供たちと十分にふれあいの機会を持つ事ができた。

終了後アンケートをとった結果「もっとゲームがしたかった」「次回も参加したい」という本人の声や保護者から「本人が自主的に練習をするようになった」といった声が寄せられた。

【参加者】 1回目（令和4年12月26日）：34名

2回目（令和5年3月25日）：15名

### 4 次年度以降の取組について

今後も、運動をしたい子供たちが気軽に参加できるような催しとしたい。令和5年度も補助金を申請し機材の充実を図るとともに、参加者の声を反映した内容のプログ

ラムにしたい。また学校とも連携し、より幅広い層への認知を広げるとともに、継続的に開催できる座組を模索していく。

市内施設を予約する際に、市民団体が利用できる施設が足りていない現状や手続きの煩雑さ、同じ施設でも時間帯や用途によって管轄が異なったことで、確認等に大きくリソースを割かれることとなった。要望として、より市民のベネフィットにつながる施設運用を提言したい。

<取り組みの報告を受けた選考委員会からの主な意見（助言等）>

- ・子どもにとって今回のイベントが運動を行うきっかけになったと思うが、子どもたちの体力や運動機能向上に繋がるような継続的な活動に繋がられるように考えていくことが大切である。
- ・取り組みを整理すると、三鷹の子どもの体力向上という目的のために元プロサッカー選手を講師として招くという形である。今後は、サッカーに限らず相撲、ランニングといった別の手段を取り入れていくことで、より広がりをもって活動の継続が期待できるのではないか。
- ・地域で子どもをサポートする大人にとっても、子どもの人格形成を含め、今回のような目的のために、どのように子どもと接すると良いかを学び合えるような活動にも発展していくとより良い取り組みになると考える。